

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	福本 信太郎
主な担当科目	合奏Ⅰ①,合奏Ⅲ①,合奏Ⅰ①,合奏Ⅰ②,合奏Ⅰ③,合奏Ⅰ④,合奏Ⅲ①,合奏Ⅲ②,合奏Ⅲ③,合奏Ⅲ④,合奏Ⅳ①,合奏Ⅳ②,合奏Ⅳ③,合奏Ⅳ④,合奏特別演習①,合奏特別演習②
シラバス	ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。) ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の 教育目標・授業に 臨む姿勢	実技レッスンにおいては、学生一人一人に落ち着いて向き合い、個々の目標や将来の展望に則した指導を心がけたい。 座学授業においては、昨年までの教材をブラッシュアップし、学生の理解がより深まるよう努めたい。 合奏は大変多くの学生が履修しているため、年間計画を早めに提示しスムーズな授業展開を推し進めたい。
2023年の教育に関 する自己評価	個人レッスンにおいては単に実技指導を行うだけではなく、対話を大切にしながら個々の力を伸ばすことができた。短期的な上達が難しい学生も、長いスパンで成長を感じることができた1年であった。授業で使用するICTを活用した教材は、マイナーチェンジを重ねながらより良いものにすることができた。合奏授業では、シラバスに則って半期毎の具体的な授業展開を学生に提示し効果的に進めることができた。
2023年のFD活動 に関する自己評価	多くのFDに参加し、それぞれの分野における理解を深めることができた。多様な学生への対応を考える機会が多くあり、そこから生まれる新しい課題についても積極的に考えていかなければならないと感じることが多かった。
授業改善のために 取り入れた研修内容	多様な背景を持つ学生、学修意欲や習熟度に大きく差がある集団との授業において、学生への呼びかけ方や、対応の仕方に工夫を凝らした。とりわけソルフェージュのように習熟度でクラス分けが成されている科目を担当されている先生の体験談は、対応に具体性があり参考になるものが多かった。

2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:870 教員名:福本信太郎

1)アンケート結果に対する所見

楽器を使いながら、人と合わせる(アンサンブル)力を向上させるために行われる本授業であるが、9割以上の学生が積極的・能動的に参加し、成果を上げていることが伺える。

どの設問にも約1名の消極的回答があるが、教員側のアプローチに対してのマイナス回答はゼロであることから、学生全員のやる気を引き出すような授業には至らなかったという結果であると考えられる。

2)要望への対応・改善方策

学生からの要望は特になく、授業への好意的意見が全体を占めている。

3)今後の課題

初年度の授業であり、4月に初めて顔を合わせた仲間たちと直ぐに楽器でアンサンブルするという授業形態のため、人見知りや消極的な性格の学生には少しハードルが高い授業である可能性がある。

3コマの授業の中で、それぞれ違うアプローチをしながら授業が進められていくが、向上を目指す部分と学生の能動的な参加を促す部分との両面に配慮しながら進めていくことを今後の課題としたい。特に前期最初の数回は後者について重点を置き、スムーズな友人関係を促すことでアンサンブルのコミュニケーション力を高めることを訴求していきたい。

以 上